



モルックでピンに狙いを定めて投てきする塾生

9月28日

環境を学び未来へつなぐ 第2回ふるさと未来塾

本年度2回目となる「ふるさと未来塾」が社会福祉センターなどを会場に行われ、塾生7人が参加しました。参加者は、白糠バイオマス発電所で木材チップが燃やされ発電する過程を見学。その後、社会福祉センターに移動し、町職員によるカーボンニュートラルの授業を受けました。最後は、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」で参加者同士の交流を深めました。

10月2日～4日

温泉で心と体を癒す 生き活きしらぬか日帰り温泉事業

2日～4日の各日、弟子屈町の屈斜路プリンスホテルを会場に「生き活きしらぬか日帰り温泉事業」が実施され、3日間で延べ193人が参加しました。参加者はバイキング形式による昼食で、各々が好きなものを選び、おいしそうに味わっていました。その後、大浴場の温泉でゆっくりと心と体の疲れを癒すなど、楽しいひとときを過ごしていました。



バイキング形式のレストランで食事を楽しむ参加者

9月28日

はしご酒で盛り上がる街の夜 第17回はしご酒大会

スタンプラリー形式で飲食店を飲み歩く「第17回はしご酒大会」が町内の9店舗を会場に開かれました。同大会は、3コースの中から1つを選び、1時間半以内に3店舗を巡るもの。最後は白糠振興センターで、スタンプと引き換えに豪華景品があたる抽選会に参加できます。参加者はお酒を手に会話を楽しみ、夜の街ににぎやかな笑い声が響き渡っていました。



飲み物を手に乾杯をする参加者



女性ボランティアクラブによる駒踊り音頭

10月1日

笑顔溢れるひととき 老人クラブ「演芸交流会」

白糠町老人クラブ連合会（大石静雄会長）主催の演芸交流会が社会福祉センターで行われ、老人クラブの会員と一般町民の65人が参加しました。交流会では、歌自慢たちによる歌謡曲が歌唱されたほか、舞踊が披露されました。最後は、女性ボランティアクラブによる駒踊り音頭が会場を盛り上げ、来場者から大きな拍手と歓声が送られていました。



①会場では、白糠産の野菜やたまごなどが販売されていました②「魚のつかみ取り」でブリを捕る来場者③焼き台ブースでバーベキューを楽しむ子どもたち④牛との触れ合い体験の様子



交通安全を呼びかける白糠学園の児童たち

9月25日

安全運転呼びかけ 街頭啓発「旗の波作戦」

町は「秋の交通安全運動（21～30日）」に合わせ、国道38号沿いで街頭啓発「旗の波作戦」を行いました。恋問集会所入口から坂の丘町内会までの約11kmに渡って交通指導員や地域住民、児童生徒など約500人が、「スピード落として」「安全運転」などとドライバーに呼びかけながら「交通安全」と書かれた黄色い旗を振りました。

9月22日

秋の味覚楽しむ 第3回しらぬかプチ産業まつり

新鮮な海の幸や山の恵みが味わえる「しらぬかプチ産業まつり」が旧白糠小学校で開催されました。肌寒い中でも多くの町民が会場を訪れ、バーベキューや農協青年部による「バター作り体験」、漁協青年部による「魚のつかみ取り」などで楽しんでいました。最後は、秋サケ一本などが当たるビンゴ大会で、会場は盛り上がっていました。



9月25日

上位目指して健闘誓う ホルスタインショウ激励金贈呈式

「北海道ホルスタインナショナルショウ」に出場する對木賢雅さんと伊深洋平さんへの激励金贈呈式が役場で行われました。對木さんは「全力で挑戦するとともに、白糠のPRもしていきたい」、伊深さんは「この機会に全道の農家さんと情報交換し、家畜改良や経営について学んでいきたい」と、それぞれ意欲的に語りました。



激励金を手に左から對木さんと伊深さん